

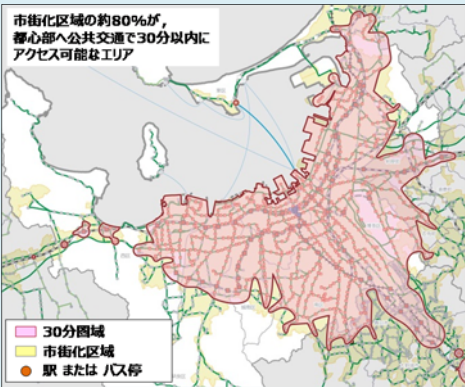
# 転入者に対する公共交通情報の提供 ～福岡市における転入者MMの取組みについて～



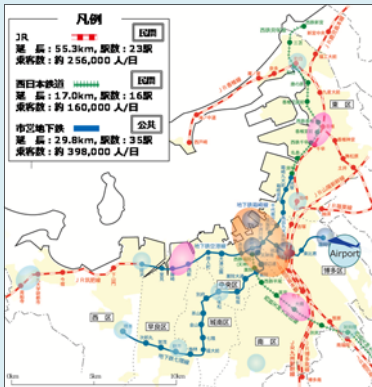
## 背景と目的

◆福岡市は、バスや鉄道、市営地下鉄などにより公共交通ネットワークの充実が図られたコンパクトな都市である。

### 市中心部への公共交通アクセス



### 鉄道ネットワーク



### バスネットワーク

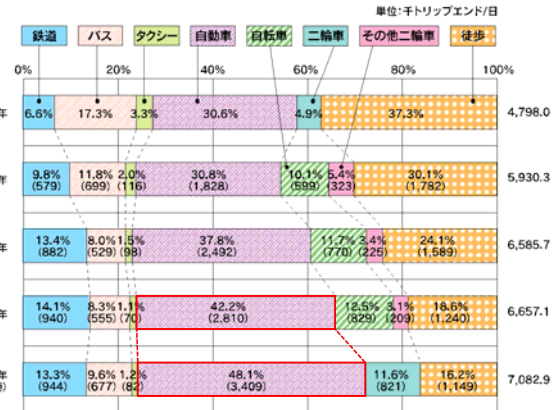


◆平成17年時点の自動車分担率が約42%であり、「福岡市交通基本計画」においても平成37年時点の自動車分担率が約48%に増加すると予測。

◆福岡市民の9割が第3次産業に従事し、支店などが多く存在するという特性を持つ都市であることから、平成27年度は約15万人（全人口の約10%）の転入者が発生。

➢公共交通の利用促進を図るためには、新たに転入される市民に対して適切な公共交通の情報を提供することが必要とされている。

### 福岡市における代表交通手段別の人の動きの推移



## 取組みの内容

◆平成22年度に一つの区役所で始めた取り組みであったが、地道にMMの重要性を関係者に説明することにより年々協力してくれる区役所を増やし、現在では市内全7区役所、配布枚数は平成26年度で年間42,400部（全転入者の約80%）となるなど、恒常的な取り組みに至っている。

◆ポイントとしては、区役所で必ず行う転入手続きという既存のシステムを活用することで、提供する側も受け取る側も新たな負担が発生しないことや、生活情報とあわせて配布することで、より注意深く目を通してもらえるという点である。



転入してこられた方に、生活ガイドなどの生活に関する情報をクリアファイルなどに入れて配布している。



公共交通関連情報を同封  
・福岡エリア公共交通ガイド  
・バス路線図  
・P&R情報  
・バス、地下鉄の利用ガイド  
など

## まとめ

◆転入者MMだけの効果ではないが、他都市においてはバス乗車人員が減少する中、何とか福岡市においては横ばいで推移しているという現状を確認できている。

◆今後は、転入者に対してアンケート調査を行うなど、施策の効果等を把握する必要がある。

➢転入者だけにとどまらない効果的なMMについても検討・実施。  
平成27年度は、小学生低学年を対象とした副読本を作成し、今年度、一部の学校において、授業で活用している。



←公共交通の乗り方やマナーを学ぶための副読本



授業の風景→

